

会 議 録

会議等名	平成29年度第2回富士見市歯科口腔保健推進委員会
開催日時	平成30年2月5日(月)午後1時30分～3時00分
開催場所	富士見市立健康増進センター 研修室
出席者名	委員：小柳 聡委員長、三木 とみ子副委員長、 赤羽 尚子委員、伊垣 容子委員、大里 信子委員、 日下部 菜穂美委員、是永 國彦委員、渋谷 善行委員、 長堀 厚子委員、松田 順子委員 事務局：望月健康増進センター所長、山崎健康増進センター副所長 相原健康増進センター副所長、村井母子保健係主査 小林保健予防係主査、担当：駒林、仁木
欠席者名	委員：佐藤 公誠委員、増田 義則委員
傍聴者	0名
議事内容	
1 開会	
2 委員長あいさつ(小柳委員長よりあいさつ)	
3 議事	
(富士見市歯科口腔保健推進委員会条例 第6条第2項により、委員の過半数の出席があるので、本日の委員会が成立することを報告された。)	
(1) 歯と口腔の健康に関する事業の取組み状況について	
事務局 委員長	資料説明 歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について、質疑があればお願いしたい。
委員	資料1の区分学齢期で、「歯科保健指導」や「給食後の歯みがき」の項目は年度毎に1校ずつ増えているが、一度に増やせない理由があるのか。
委員	私が所属する小学校は以前からやっている。他の学校で導入できないのは、おそらく蛇口の数が少なくてできないのではないかと。
委員	設備上の問題か。
委員	設備上の問題や、時間の確保が考えられる。給食の後は5分程度しか時間がない。その問題をクリアできれば、増えていくのではないかと思う。
委員長	中学校は給食の時間が20分しかなく、その後、次の授業の準備をするため、歯を磨くことは各自に任せている状況。歯科医師会でも、全学校での歯ブラシ指導や設備の整備をお願いしている。
副委員長	平成28年度の「給食後の歯みがき」は、14校できているという捉え方もある。市内18校のうちの14校は実施上の問題が全く無かったわけではないと思う。実施している学校は何か工夫をしていると思う。そういうところ

<p>委員 副委員長</p>	<p>から見習ってはどうか。給食後の歯みがきができないのには、水道の問題、時間の問題、その他の問題があると思う。水道の問題については、手洗いができるところであれば、歯みがきもできるのではないかと。時間の問題は、特に中学校だと部活などもあり、カリキュラムも詰まっているため厳しいと思う。食後、食べたなら磨くということを指導し、習慣化されていれば、学校でだけ歯を磨かないのは気持ちが悪いという子どもも出てくると思う。歯ブラシの管理について、歯みがきを行っている14校は、自己管理なのか。自己管理である。</p> <p>以前は、歯ブラシ保管庫を使用していて、それは衛生的ではないということの問題があった。学校側の言うことはよく分かる。食べたなら磨くという自己管理能力ができていれば、残り4校もできないことはないのではないかと。来年、再来年の間に増えて変わっていくと良いと思う。</p>
<p>(2) 富士見市の歯科口腔保健の推進について（意見交換）</p>	
<p>委員長 委員 委員長 委員 副委員長 事務局 副会長 委員長 事務局 委員 委員長 事務局 委員長 委員</p>	<p>先程の歯と口腔の健康に関する事業の取組状況を踏まえ、委員の各方面・各分野における取り組みや歯科口腔保健の状況において感じていることなどについて、意見交換を行いたい。</p> <p>資料2 ライフステージの成人期、高齢期の目標値で、「成人歯科健診を受診する人の増加」の目標値が出ているが、成人期と高齢期を分けて進捗管理はできるものか。この人数は、成人期、高齢期でどちらかが人数が伸びている等は分けて評価することはできるか。</p> <p>高齢期だと、比較的地域に戻っており、働きかけもしやすい。成人期だと、職域にも入っていかないといけないので、中々難しいと思う。分けて人数や、進捗管理をした方が良いと思った。</p> <p>この平成36年度目標値の800人を成人期と高齢期で分けた方が良いと。分けた方がそれぞれの世代に対する対策が立てやすいと思う。</p> <p>これは妊産婦健診を含んでいるのか。</p> <p>計画ができた当時、妊産婦歯科健診は実施していなかったため、成人歯科健診の中に妊産婦歯科検診も含まれるという形で考えている。</p> <p>成人から高齢期の中の成人期に妊産婦が入っており、この世代の歯科健診受診者を増加させたいのだが、現状では年間で360人ということか。</p> <p>現在は統計を一緒にしているが、分けることは可能か。</p> <p>分けることは可能。しかし、計画を策定した当時は妊産婦歯科健診を実施していなかった。そのため、平成36年度の評価の目標値を、成人歯科健診ということで策定した。目標値を変えるのであれば、次の見直しの時などがよいのではないかと。</p> <p>目標値を変えるのではなく、成人期と高齢期で、それぞれの対策を考える際にデータとしてあると良いと思った。根底から覆す必要は無いと思う。</p> <p>成人歯科健診受診者を出す時に、成人期、高齢期別で人数を書いた方がわかりやすいということ。</p> <p>分けることは可能。</p> <p>平成36年度の目標値800人というのは変わらないが、進捗管理をするためには、実績値の内訳が、成人期、高齢期、妊産婦と分けてあるとよいと思う。蛇口の不足が原因で全校で歯みがきが実施できないとのことについて。今、学童期の子どもは自分で水筒を持って学校へ行っている。蛇口を増やさなくても、流しささえあれば水筒の水で洗口できる。時間差で行えば十分可能だと思う。時間の確保については、学校側に働きかける必要がある。</p>

	<p>それからもう1つ、歯の疾患として歯周病の占める割合が高いと聞く。成人歯科健診を受ける際、歯科医院探しはホームページを参考にする。一般の健康診断関連のページでは、どの医院でどの検診を受けられるかが一覧になっている。これと同様に、歯科医院ごとの、歯周病に特化した先生の有無を一覧表記すれば、一般市民にもわかり歯科医院を選ぶときの参考になるのではないのかと思う。</p>
委員長 委員	<p>「歯周病特化」というような表示をすることはできない。 個々の歯科医院のホームページ等で歯周病の認定医などを見つけていくしかないのか。</p>
委員長	<p>今後、市のホームページに歯科医師会のホームページをリンクする予定。そこで確認すれば、わかりやすいと思う。来年の春頃には実現したいと思っている。</p>
委員	<p>高校生までは学校で歯科健診が毎年あるが、大学生になると歯科健診は無くなってしまう。むし歯が無いと、歯科医院に行く必要性を感じない。先程も、成人期・高齢期が一緒になってしまっているという話があったが、成人歯科健診と、20歳位の子に言ってもピンとこないのではないのか。成人式の案内の時に成人歯科健診を案内すれば自分も対象だという意識が出るのではないのか。もっと若い世代が定期健診を始めるきっかけを作れると良いと思う。例えば単に健診だけでなく、歯石除去等の付加価値がついていると、その爽快感を味わって、次からは自分で定期的に行くというきっかけができるのではないのか。</p>
委員長	<p>18歳から20歳までが、空白の2年間がある。高校生までは学校で健診があるが、大学になると健診は無い。富士見市の成人歯科健診の対象が20歳からのため、高校卒業後の2年間が空白になってしまう。成人歯科健診の対象年齢を20歳ではなく18歳まで下げたい考えを持っている。先日、行政と富士見市歯科医師会、埼玉県歯科衛生士会朝霞支部で歯科口腔保健推進調整会議を行った。そこでも要望を出している。</p>
委員	<p>学校の歯みがき指導についてだが、水道が無いということもあろうが、中学生になるとカリキュラムが多く、時間がなかなかとれない。統計的にむし歯の数をみると、中学生になるとむし歯の数が極端に増える。</p>
委員長	<p>歯科保健指導、歯みがき教室だが、小学校は全学校でやっている。中学校でもやりたいという養護教諭はいるので、ぜひお願いしたい。</p>
委員	<p>現在中学校での実施は西中だけ。歯科衛生士会は派遣で来ているので、その分予算が発生する。予算については教育委員会に要望を出しているが、学校側としては、時間が無いとの事である。</p>
委員長	<p>フッ化物洗口のことだが、小学校2校と特別支援学校で実施している。埼玉県でも推奨しているが中々進まず、それもなぜなのかわからない。</p>
副委員長 委員長 委員	<p>予算は県から出ているが、実施のための準備作業は養護の先生が行わなければいけない。大変だということをよく聞く。 フッ化物洗口を実施しているのは2校なのか そのようである。</p>
委員長 委員	<p>フッ化物洗口を実施している針ヶ谷小学校は、週1回やっている。恐らくもう1校は歯科保健指導、歯みがき教室の時にやっているのではないのか。最初は年1回でも良いので、できるようにすすめていけると良いと思う。</p>
委員長 委員	<p>半年に1回でも十分なので、同様な意見である。 自分の経験を思い起こしても、やはり高校までは学校で定期健診があり、大学生になると健康診断もなくなって、会社に入ってから健康診断はあるが、歯の項目は入っていなかった。歯科健診は一般的な健康診断には入っていない</p>

委員長 委員	<p>のか。</p> <p>入っていない。一部の大企業だけである。</p> <p>高齢者になって、それぞれの人が健康に危機感を持っており、歯に興味を持っている。若いうちから一人ひとりに歯科の知識を植え付けていった方がその後も良いのではないかと思った。</p>
委員	<p>成人歯科健診だが、資料2を見ると受診者が減ってきている。先程も歯科衛生士が言ったように、受診者を増やすために、付加価値をつける等の対策を考えているか。先程の委員が言われたように、歯科の知識を植え付けるなどの対策を取り入れた方が、健診に繋がると思うが、そこを歯科医師会がやるのか、行政で考えるのかというのは、どのようにお考えか。せっかく予算をとってもらって健診を実施しても、受診されていない現状なので工夫した方が良いと思う。</p>
事務局	<p>成人歯科検診のPRとしては、広報・ホームページへの掲載はもちろん、平成29年度からは、子育て世代のお母さん向けの、「スマイルなび」という富士見市の子育てを応援する情報サイトに、成人歯科健診のお知らせを掲載している。また先程、成人式の時にお知らせするというお話もあったが、成人歯科健診だけではなく子宮がん検診等も20歳で受けられるので、一緒に入れてお知らせしている。更に目につくような工夫が必要だとは思っているので、今後も引き続きPR方法をみつけ、検討していく。何か歯に関係していて、興味をもってもらえるようなこと、そこから結びついていければいいと考えている。</p>
委員	<p>自分自身フッ化物塗布をした記憶がある。それがまだほとんど浸透していないというのは残念なこと。</p>
委員	<p>以前はフッ化物を健康に害があると思っている人もいた。しかし、フッ化物を使えばむし歯が減るというデータは出ている。結局は歯科医師らが、学校の先生方にお話しし、進めていくしかないと思っている。</p>
委員	<p>現在は、ほとんどの歯みがき粉にフッ化物が入っている。ある程度むし歯が減っているというのは、歯みがき粉の効果もあるのではないかという話もある。昔に比べると、むし歯自体は大分減ってきていると思う。</p>
委員	<p>先程ブラッシング指導の話が出たが、とても大事だと思う。今は歯科医院へ行けば、ブラッシング指導が受けられる。小さい頃からブラッシング指導を受けて身についたものは抜けないので、先程おっしゃったように小学生くらいの時にそのような指導を徹底していくというのは良いことだと思う。私は食生活改善推進員なので、高齢者学級など日頃の活動場面で市民にお声掛けもできるのだなと思った。</p>
委員	<p>小学校では毎回給食後に歯みがきをしていて、中学校では無いようである。中学生の息子は、面倒くさいし時間が無い、給食後の歯みがきはなくて良いという感じだが、その話を聞いた小学生5年生の娘は「歯みがきがないのは気持ち悪い」という感じなので、中学校でも先生が言えばやるのではないかと思う。中学校でも歯みがきを実施するところが増えれば良いと思う。</p>
副委員長 委員 委員長	<p>成人式のお祝いに無料券配布はできないのか。</p> <p>歯ブラシをプレゼントするとか。</p> <p>先々週の歯科口腔保健推進調整会議で、成人式や60歳などの節目で無料の健診をやるという意見も出た。そしてそこでは、スケーリングや、歯石除去などを実施しても良いのではないのか。むし歯がある人は、歯医者にずっと行っているため、歯周病にはあまりならない。むしろ、むし歯になりにくい40代～60代が久しぶりに来院すると、極端に歯周病が進んでいる。これからは対象年齢を下げ、必ず全員が受けられるようにしたいと考える。なぜ成人歯科健診</p>

<p>副委員長</p> <p>委員長 副委員長</p> <p>委員長</p>	<p>の受診者が減ったかという点、3年前まで無料だった成人歯科検診が、500円になった途端に少なくなった。</p> <p>例えば自宅でフッ化物の入った液体でうがいをする等啓発すれば、成果は同じなのか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>歯みがきほどフッ化物が普及しないのであれば、家庭における啓発も一つだと思う。歯みがき粉の中にフッ化物が入っているのであれば、家庭での教育として歯みがき粉も大事だよと。そして、昔習ったことの教育効果は大きく、案外覚えている。同時に、食生活改善とセットで、食事を作り、食べ、さあ歯を磨こうというように。そういう意味で委員一人ひとりの意見は非常に貴重だと思った。</p> <p>昨年6月の歯と口の健康フェアで口腔がん検診を行った。今年も歯と口の健康フェアで無料歯科健診、ブラッシング指導、何でも相談というのがある。</p> <p>また、こちらは決定ではないが、日本大学医学部の口腔外科の准教授をお招きし、健康まつりで市民向けの口腔がんについての講話をやりたいと思って計画している。今後は歯と口の健康フェアだけではなく、歯科医師会の各診療所で口腔がん検診等をやっていこうと歯科医師会全員が勉強中である。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。委員の皆様の貴重なご意見が「富士見市歯科口腔保健推進計画」を推進していく上でとても重要なものとなりますので、今後とも計画の進行管理について、ご審議いただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>(3) 今後の予定について</p>	
<p>委員長</p>	<p>来年度の日程の詳細は4月以降に決定したいと思う。おおよそ、8月上旬を考えている。時間は1時半から3時半で考えている。</p>